



プロジェクターファームウェア 更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L30002U

EB-L30000U

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.4.00の概要 4

オプション品に関する変更 (Ver. 4.00) 4

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00) 4

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00) 4

ファームウェア Ver.4.10の概要 5

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10) 5

操作方法に関する変更 (Ver.4.10) 5

ファームウェアの変更詳細について 6

オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 4.00) 7

ELPEC01をサポート 7

外付けカメラを使用する 7

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.00) 8

シンプルスタッキング 8

シンプルスタッキングの動作条件 9

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.10) 10

コマンド通信、Web API設定およびPJLink 10

全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定 11

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.4.10) 13

Web APIを使ってプロジェクターを操作 13

ポイント補正の最大値変更 13

Remoteパスワード設定の変更 13

Epson Web Controlの操作変更 13

Epson Projector Managementの操作変更 13

付録 15

一般のご注意 16

ご注意 16

商標について 16

著作権について 16

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.4.00の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver.4.10の概要」 [p.5](#)

ファームウェア Ver.4.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「オプション品に関する変更 (Ver. 4.00) 」 [p.4](#)
- ・ 「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00) 」 [p.4](#)
- ・ 「メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00) 」 [p.4](#)

▶ 関連項目

- ・ 「シンプルスタッキング」 [p.8](#)

オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- ・ 外付けカメラELPEC01

▶ 関連項目

- ・ 「ELPEC01をサポート」 [p.7](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- ・ Epson Projector Management Ver. 5.4
- ・ Epson Projector Professional Tool Ver. 1.4

詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』および『Epson Professional Projector Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)

本バージョンでは、拡張設定メニューに以下の変更があります。

- ・ [マルチプロジェクション] に [シンプルスタッキング] を追加

ファームウェア Ver.4.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)」 [p.5](#)
- ・ 「操作方法に関する変更 (Ver.4.10)」 [p.5](#)

- ・ 「Remoteパスワード設定の変更」 [p.13](#)
- ・ 「Epson Web Controlの操作変更」 [p.13](#)
- ・ 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.13](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ・ [その他] に [コマンド通信]、[Web API設定] および [PJLink] を追加
- ・ [全初期化(工場出荷状態)] に [全初期化(ユーザー初期値)] と [ユーザー初期値設定] を追加

▶ 関連項目

- ・ 「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 [p.10](#)
- ・ 「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 [p.11](#)

操作方法に関する変更 (Ver.4.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・ Web APIを使ってプロジェクターを操作できる
- ・ より高い画素数までポイント補正ができる
- ・ 以下の変更により、ネットワークセキュリティーを強化できる
 - ・ [Remoteパスワード] 設定
 - ・ Epson Web Control
 - ・ Epson Projector Management

▶ 関連項目

- ・ 「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 [p.13](#)
- ・ 「ポイント補正の最大値変更」 [p.13](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 4.00) 」 [p.7](#)
- ・ 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.00) 」 [p.8](#)
- ・ 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.10) 」 [p.10](#)
- ・ 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.4.10) 」 [p.13](#)

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ELPEC01をサポート」 [p.7](#)

ELPEC01をサポート

ファームウェアをVer. 4.00に更新すると、お使いのプロジェクターで外付けカメラELPEC01が使用できます。

▶ 関連項目

- ・「外付けカメラを使用する」 [p.7](#)

外付けカメラを使用する

オプションの外付けカメラを取り付けると、カメラアシスト機能やリモートカメラアクセスなどの拡張機能が使用できます。

拡張機能を使うことで、調整にかかる手間を軽減できます。

外付けカメラでは、一般的なカメラソリューションの利用に必要とされている下記のような作業が不要です。

- ・ 設置場所の確保や画角調整などの事前準備
プロジェクターまたはレンズユニットに取り付けて使用するため、三脚の用意や設置スペースの確保は不要です。また、ピントや画角、露光などの調整も不要です。
- ・ アクティベーション
Epson Projector Professional ToolやEpson Web Controlなどの無料のツールを導入するだけで、かんたんに拡張機能が利用できます。



Epson Projector Professional Toolのソフトウェアおよび取扱説明書はWebサイトよりダウンロードしてください。

epson.jp/download

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「シンプルスタッキング」 p.8

シンプルスタッキング

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルスタッキング] が追加されます。

変更前の拡張設定メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング

変更後の拡張設定メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング
		シンプルスタッキング

[シンプルスタッキング] では、複数のプロジェクターからの映像を1つに重ねた明るい映像をすばやく簡単に作成するための設定をします。

- ・ [ポイント補正] : 投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に0.5画素ずつ移動させることで映像のゆがみを補正します。細部のゆがみが気になるときに、局所的に調整できます。
- ・ [自動調整開始] : カメラアシスト機能を使って投写映像を自動で調整します。機能を実行するプロジェクターがマスタープロジェクターとなり、投写位置や形状の基準になります。



- 2台のプロジェクターはLANケーブルで直接接続してください。
- 事前に以下を実施してください。
 - 両方のプロジェクターで [ネットワーク] メニューの [DHCP] を [オン] に設定します。
 - マスタープロジェクターが投写する映像の位置、形状、ピントを調整します。マスタープロジェクターからの映像の形状は、[ポイント補正] の [Quick Corner] で調整してください。
 - シンプルスタッキングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約4分かかります。

- 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
- 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
- 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
- 30Klm以上：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターが同じ解像度である
- [拡張設定] メニューの [設置モード] がすべてのプロジェクターで [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されている

▶ 関連項目

- 「シンプルスタッキングの動作条件」 [p.9](#)

シンプルスタッキングの動作条件

シンプルスタッキングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

- 使用するすべてのプロジェクターそれぞれに外付けカメラ、または内蔵カメラが搭載されている
- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である（スクリーン照度が40ルクス以下の場合、以下の投写サイズが推奨値）
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
 - 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ **関連項目**

- ・「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 p.10
- ・「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 p.11

コマンド通信、Web API設定およびPJLink

[ネットワーク] > [その他] に [コマンド通信]、[Web API設定] および [PJLink] が追加されます。

変更前のネットワークメニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		優先ゲートウェイ
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

変更後のネットワークメニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	コマンド通信
		セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		Web API設定
		優先ゲートウェイ
		PJLink
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
メッセージ配信		

[コマンド通信]

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

[プロテクト]

ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

[互換]

Monitorパスワード (半角英数字で16文字以内) を用いた平文認証を行うときに選択します。



Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは、[互換] を選択してください。

[Web API設定]

Web APIで通信するときの設定をします。

[Web API]

Web APIでプロジェクターを制御するときは [オン] に設定します。

[認証タイプ]

Web API通信を行うときの認証方法を設定できます。

- [Open]
認証を行いません。
- [Digest]
API認証 (ダイジェスト認証) を使用します。



詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。

[PJLink]

[オン] に設定すると、PJLinkコマンドを使用して本機を制御できます。

全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定

[初期化] > [全初期化(工場出荷状態)] に [全初期化(ユーザー初期値)] と [ユーザー初期値設定] が追加されます。

変更前の初期化メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(工場出荷状態)

変更後の初期化メニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(ユーザー初期値)
		全初期化(工場出荷状態)
		ユーザー初期値設定

[全初期化(ユーザー初期値)]

[ユーザー初期値設定] で指定した設定値を反映します。

[ユーザー初期値設定]

[全初期化(ユーザー初期値)] を実行するときに反映させる値を設定します。

以下の設定の初期値を設定できます。

- [光源モード]
- [明るさレベル]
- [一定モード]
- [AV出力設定]
- [待機モード]
- [スタンバイ確認]
- [メッセージ表示]
- [確認音]
- [スリープモード]
- [シャッタータイマー]
- [シャッター解除]
- [カラーモード]
- [無線電源]
- [DHCP] ([有線LAN] メニュー)

- ・ [コマンド通信]

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 p.13
- ・「ポイント補正の最大値変更」 p.13
- ・「Remoteパスワード設定の変更」 p.13
- ・「Epson Web Controlの操作変更」 p.13
- ・「Epson Projector Managementの操作変更」 p.13

Web APIを使ってプロジェクターを操作

Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。また、ESC/VP21コマンドの一部はWeb APIで実行することができます。詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。



- ・ Web API通信には、API認証 (Digest認証) を使用できます。
- ・ API認証のユーザー名は**EPSONWEB**、パスワードは [Web制御パスワード] で設定されているパスワードを入力してください。

ポイント補正の最大値変更

ポイント補正の最大値が拡大されます。広範囲でポイント補正ができるため、異なった形状のスクリーンへの投写が可能になります。

変更前のポイント補正量 (Ver.4.00)

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大32画素まで補正できます。

変更後のポイント補正量 (Ver.4.10)

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大600画素まで補正できます。

Remoteパスワード設定の変更

プロジェクターの [ネットワーク] メニュー > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] の [Remoteパスワード] 設定が変更され、ネットワークセキュリティが強化されます。

変更前のRemoteパスワード設定 (Ver.4.00)

半角英数字で最大8文字まで入力できます。

変更後のRemoteパスワード設定 (Ver.4.10)

半角英数字で最大32文字まで入力できます。

Epson Web Controlの操作変更

Epson Web Control 設定が変更され、ネットワークセキュリティが強化されます。

- ・ [Monitorパスワード] はEpson Web Controlでのみ、[コマンド通信] が [互換] の時だけに設定できます。
- ・ Web Controlパスワードとして、デフォルトパスワードの**admin**が設定されているときは、Epson Web Controlの [詳細設定] 画面を開く前にパスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを変更してください。
プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。

Epson Projector Managementの操作変更

ファームウェアをVer.4.10以降にアップデートした後に、Epson Projector Managementで認証エラーが起きるときは、以下のいずれかをお試しください。

- Web Controlパスワードがわかるときは、Epson Projector Managementのメイン画面で、複数の対象プロジェクターを選択し、[編集]メニュー> [プロパティ] を開いて、[Web Controlパスワード] を入力します。
- Web Controlパスワードがわからないときは、プロジェクターの [ネットワーク] メニュー> [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web Controlパスワード] を開いて、[Web Controlパスワード] を変更し、Epson Projector Managementで [Web Controlパスワード] を入力します。

付録

次の点にご留意ください。

▶ **関連項目**

- 「一般のご注意」 [p.16](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.16
- ・「商標について」 p.16
- ・「著作権について」 p.16

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2021.09 414197900JA

Rev.1.1 2021.12 414197901JA

Rev.1.2 2022.02 414197902JA